



常金丸小だより

2026年(令和8年)

7月1日(水)

No.16

このたび、ため池の決壊により被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。突然の災害により、ご不安やご不便の中でお過ごしのことと拝察いたします。被災されたご家庭の一日も早い復旧と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

靴箱の靴がそろう学校

朝、靴箱の前を通ると、くつがきれいにそろっている日が増えてきました。かかとをそろえて靴が入れてあります。誰かに「そうしなさい。」と言われたからではなく、自分で気づいて、そっと直している人がいるのがすてきです。

靴がそろっていると、次に使う時に取りやすく、靴箱自体も安全な場所になります。そして何より、「学校を大切にしよう。」「友だちのことを考えよう。」というやさしい気持ちが見えてきます。

小さなことに見えても、毎日の積み重ねが学校のあたたかいふんいきをつくるのです。

今日も、「ぬいだらそろえる。」「気づいたら直す。」そんな行動が広がっていることを、うれしく思います。これからも、靴箱から「思いやり」を増やしていきましょう。



5年生の靴箱

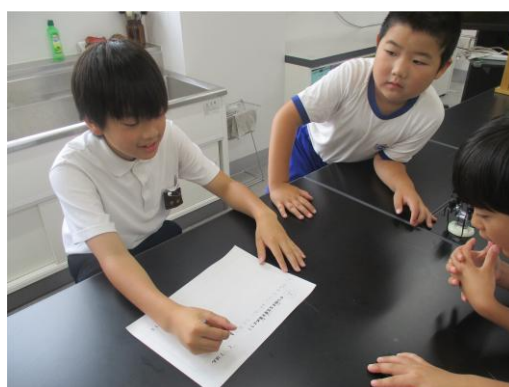


異学年交流「わくわくチャレンジ」で 笑顔いっぱい!

毎週金曜日に、本校では異学年で交流し合う取組「わくわくチャレンジ」を行っています。上級生がリーダーとなって遊びや活動を考え、下級生にやさしく声をかけながら進めてくれています。

初めは緊張していたこどもたちも、活動が進むにつれて自然と笑顔に!学年をこえて名前を呼び合い、協力し合う姿から、思いやりや責任感が育っていることを実感しています。

今後も、あたたかい人間関係づくりにつながる活動を大切にしていきます。



SAB (外遊び)

～外遊びで、目と体の健康づくりを～

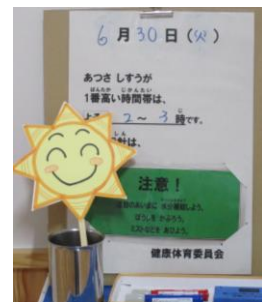
本校では、健康体育委員会の提案により、休み時間の外遊びを通して、学年をこえてかかわりを広げる「SAB プロジェクト」を実施しています。

その背景には、近年、こどもたちの「視力低下」や「運動不足による体力・体型の変化」が課題として挙げられています。そこで、休み時間を中心に外遊びの機会を意識的に確保し、日常的に体を動かす習慣づくりを進めることが、こどもたちの健康の保持増進につながると考えています。

屋外で過ごす時間を増やすことは、遠くを見る機会が増えること、体を動かす活動につながり、目と体の健康にとって望ましい生活リズムづくりに役立つとされています。また、外遊びは友だちとのかかわり方や気持ちの切り替えを学ぶことができ、よい効果が期待できます。

学校では、安全に配慮しながら、おにごっこ・ボール遊びなど、学年に応じた遊びを提案し、教職員が見守っています。暑さ指数(WBGT)や校庭状況により、外遊びを控える場合もあります。

ご家庭でも、①水筒・帽子・汗拭きタオルの準備、②メディア(ゲーム・動画等)の時間や姿勢・宿題等の見直し、③生活リズム(睡眠・朝食)の安定、④定期的な視力チェック等にご協力ください。学校と家庭で連携し、こどもたちの健やかな成長を支えていきましょう。



暑さ指数を毎日
掲示しています

6年生 租税教室

6年生は、6月30日(火)3時間目に、青色申告会と芦品商工会の方をお招きし、租税教室を行いました。授業では、「税金は何のためにあるのか。」「集められた税金はどのように使われているのか。」について、身近な例を通して学びました。

もし税金がなかったら社会はどうなるのかについても考え、道路や消防・救急、学校、福祉など、私たちの生活が多くの税金に支えられていることに気づきました。税に関するDVD視聴や意見交流も行い、こどもたちは楽しみながら理解を深めることができました。

学んだことをこれからの社会科の学習やよりよい社会をつくる一員としての意識につなげていきます。

